

マルキホームズは9月12、13日、群馬県沼田市のホテルベラヴィータで「第96回2024年秋・冬 マルキホームズ・インザワ合同展示会・見本市」を実施した。地元群馬県内はもとより、関東・関西圏内からも得意先が多数来場、商品調達力と幅広い品ぞろえに基づき様々な商品、サービスを提供した。新規を含め取引メーカーから約65社が出展



より幅広い得意先関係者が来場

65社出展、幅広い商材紹介 合理化へ組織体制変更

マルキホームズは9月12、13日、群馬県沼田市のホテルベラヴィータで「第96回2024年秋・冬 マルキホームズ・インザワ合同展示会・見本市」を実施した。地元群馬県内はもとより、関東・関西圏内からも得意先が多数来場、商品調達力と幅広い品ぞろえに基づき様々な商品、サービスを提供した。新規を含め取引メーカーから約65社が出展

当者が熱心に説明、積極的な提案を繰り返した。主力の日用品・化粧品、家庭用品に限らず、食品、園芸用品、介護用品、ペット関連など幅広い商材を紹介した。展示会では、各社が注力する商品やサービスを営業担当者が熱心に説明、積極的な提案を繰り返した。主力の日用品・化粧品、家庭用品に限らず、食品、園芸用品、介護用品、ペット関連など幅広い商材を紹介した。



展示会場での石澤社長

連、貴金属や健康器具などまで展示した会場には、小売業者を中心に、業務用品やノベルティなどを求めるオンラインリテール(非小売業者)も訪れて賑わいを見せると共に、活発な商談の様子が目撃された。陣頭に立つて自らも接客に当たった石澤社長は「展示場から業務用品を購買し

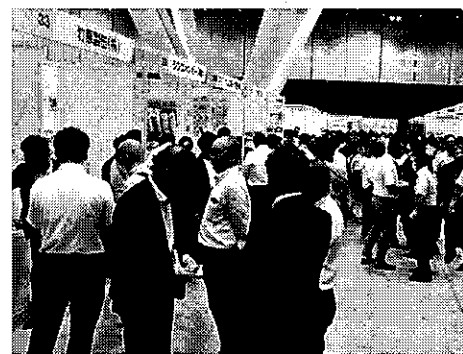
リビングワンダーランド(ランド)2024「パ」(スベパ・タイパ・コスバ)の雑貨たち「に則り商品やサービスを提供。全国から訪れた招待客の関心を集めた。会場の中央部分に設置した「テーマコーナー」では、空間対効果(スベパ)、時間対効果(タイパ)、費用対効果(コスバ)に優れた商品を取り上げ、それぞれの項目ごとにまとめて展示、紹介した。スベパでは折り畳めるパケツや効率的な収納ができるケース、ラックなど、タイパでは電子レンジで使える魚焼き器や調理時間が短縮できる食品保存容器、またコスバでは電気代節約のための保温シートや断熱マット、長持ちするスポンジ、たわし類、大容量のペーパータオルなどをそろえた。



様々なスベパ・タイパ・コスバを紹介

102社出展、雑貨の三つの「パ」をアピール

「ZK(全家協)コーナー」では、各種オリジナル商品を紹介。アイロン台やフリーザーバッグ、衣料用洗剤、室外機カバー、不織布マスク、フライパンといった、幅広いジャンルから選んだ商品群を陳列した。個々の企業では、それぞれに工夫を凝らし、独自の装飾を施したブースを設置。売り



102社が新たな価値を訴求



キッチン関連のコスパ商材

込みたい商品の現品、サンプル品、カタログ、チラシなどを用意し、来場者へのアピールに努めた。今回の出展メーカーは102社で、うち新規出展は12社(青山通商、アスコポレシヨン、オカザキ、カナエ紙工業、九州フワフワサービスクロソリ)の生活防衛意識が強く

「還元型コエンザイムQ10」の魅力紹介
カナカは、9月3日、東京都港区のユナイテッド・シネマ アクアシティお台場で「還元型コエンザイムQ10プレゼンツ」を放映した。当日は、睡眠不足や疲労を感じる

なっている。家庭用品は生活必需品といえども、付加価値のある商品を提供していかねばならない。本展示会で、そうした商品を探した開会式では、全家協の岡部弘幸理事長(岡部)があいさつに立ち「昨今、インフレが進んであらゆる商品が値上がりし、消費者の生活防衛意識が強く

出展メーカーを代表し、品。機能だけでなく、どういったニーズに応えたいかを訴求する。岡部氏は「展示場だけでなく、販売店、出展メーカー、そして我々組合員の3者がリビングワンダーランドをきっかけに、互いの販売を伸ばしていければ、展示会を開催した意義は大きい」と締め括った。

一社長は「小売業の方々はもちろん、生保、金融機関、ホテル、旅館業の方々が拡材や業務用品を調達に来るなどしていただいている。それでも、よく言われる『売る物を変え、売りたい』と

小売部門を本社に吸収することにした。卸売部門と一体化することで合理化を図るものが多い。当社でも、店舗と合わせて世帯数も減少する傾向にあり、

岡山大学農分野基礎科学研究科の加藤利喜博士による「土からつくる空気浄化剤の開発」を選出した。授与式では、エスティーの岡部社長が受賞者の加藤博士に賞状と「エスティー」の研究費50万円を贈った。

リバネス研究費エスティー賞 受賞者決定、授与式実施

空気を創造する研究を支援



上月社長(左)と加藤博士

エスティーで授与式を実施した。エスティーでは対象分野を「天然物で生き物の健康や生活を豊かにする空気を創造するあらゆる研究」とし、大学・研究所と連携し、エスティーの上月社長が受賞者の加藤博士に賞状と「エスティー」の研究費50万円を贈った。

3人の子育てと無能活動で多忙な毎日を送っている藤本は「サプリメントとして還元型コエンザイムQ10を補えるのはうれしいですね。手軽に続けられそうです」とコメント。「子育てで睡眠時間が短いと思いますが、このようにされていますか?」の質問に「子供がお昼寝しているとき、一緒に休んだり眠ったりするなどの割と早めに寝るようになっていまして」と答えた。



(左から)岡部部長、藤本、安達氏

カナカは、独自の発酵技術を生かし、世界で初めて酵母から還元型コエンザイムQ10の素材の量産化に成功した。今も世界で唯一、提供している。還元型コエンザイムQ10は、睡眠の質の改善に役立つことが研究を通じて分かった。このイベントで睡眠に関する最新情報や還元型コエンザイムQ10の成分を知りたい方、これからの暮らしに役立ててほしい」と述べた。